

建築家  
隈研吾



Kengo Kuma

1954年生まれ。1990年、隈研吾建築都市設計事務所を設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。2021年8月、三鷹市都市デザインアドバイザーに就任。主な著書に『点・線・面』(岩波書店)、『ひとの住処』(新潮新書)、『負ける建築』(岩波書店)、『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)ほか多数。

第2回

国立天文台にて



動画の視聴は  
こちらから



# “百年の森”のまちづくり スペシャル対談ムービーを12.27(月)配信!

YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」で配信中。左右下欄の二次元コードからご覧ください (DVDの貸し出しも行っていきます)。 [問](#)まちづくり推進課 ☎内線2453

## 二人のコトバで

## つむぎだされる三鷹の未来



三鷹市長  
河村孝



Takashi Kawamura

1954年、静岡市生まれ、67歳。1977年、早稲田大学卒業後、三鷹市に就職。企画部長として、都立井の頭恩賜公園への三鷹の森ジブリ美術館の誘致を実現。2003年から3期12年にわたり助役・副市長として市政を支える。(株)まちづくり三鷹代表取締役会長、(公財)三鷹市芸術文化振興財団理事長、(公財)三鷹国際交流協会理事長などを歴任し、2019年4月に第7代三鷹市長に就任(現在1期目)。まちづくりのコンセプトに“百年の森”構想を掲げる。

第1回

国際基督教大学にて



動画の視聴は  
こちらから



「百年の森という構想は  
ファンタジーじゃない」

「これから百年間、三鷹を残せるのか、  
このままだと絶対、行き詰まる」

「ジブリ美術館のような大人もワクワクする  
仕掛けをまちの中にもう一度つくる」

「まちづくりというのは  
哲学が背後になくてはいけない」

「三鷹はスーパーシティ的なものに  
変質させることができる」

「こんな駅前、今まで見たことがない  
という駅前ができる」

